

2012年
春号

さざんかの郷 福祉情報誌

ほのぼの生活

発行 高齢者総合福祉施設「さざんかの郷」 三木市吉川町大沢418番地 TEL.0794-72-1170



ようやく訪れた「春」は
こころの「晴る」!!

デイサービス(本館)

デイサービスの玄関を、ご利用者の皆様に季節に合わせた作品を飾っていただいています。

おひな様・海・十五夜などのテーマに沿って、折紙やちぎり絵などで作っています。

切ったり折ったり貼ったりと、役割に合わせての共同作業。完成すると「ええのが出来たなあ」とみなさん満面の笑顔。

さて、次はどんな玄関になるのでしょうか？



ケアハウス

ビデオ鑑賞会

「太平洋戦争」



2月の中旬頃から1週間、ビデオ鑑賞会を行いました。「太平洋戦争」と題されたビデオで、シリーズ

に分け戦争の内容を振り返るものでした。入居者のみなさんは、昔に自分たちが体験したこととあって、その当時のことを思い返し涙される場面もありました。ビデオ観賞後は個人個人で振り返ったことを話されていました。第2章の内容を3月に上映予定しています。



こころのせんとく

はな じょうず き じょうず
『話し上手は聞き上手』

本当に話し上手の人は聞き上手であり、相手の話を上手に聞きながら、自分の話を交えたりしながら、相手が必要としている話を順序立ててすることができる。

デイサービス別館 さざんかデイサービス

笑い感動と やすらぎの空間づくり

今さらながらに楽しかった「クリスマス会」!!



地域別利用状況

〔吉川町〕	上吉川	4名
	中吉川	7名
	東吉川	5名
	みなぎ台	2名

〔口吉川町〕	3名
--------	----

計21名

(男性1名・女性20名)



小規模多機能

小規模多機能居宅介護事業所

「コミュニティウィンドウさざんか」

早いもので、5月1日でサービス提供を開始して1年を迎えようとしています。現在、18名の方に登録利用いただいております。まだまだ登録利用者を募集しています。見学や体験利用も随時行っていますので、お気軽にご相談ください。



スタッフ2名が新年祝賀会の司会に！
皆さんと記念撮影



バースディケーキも
手作りです



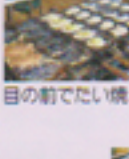
十日えびず参り



バレンタイン
チョコレートフォンデュ



立派な門松



目の前でたい焼き



いちご大福



新春 紅白対抗運動会



2月の誕生日の会暨食バイキング



手打ちうどん



手作り千切り

特養(本館)

特養(本館ユニット)は、10名だけのアットホームな空間づくりを目標にがんばっています。特に「食べる楽しみ」のサービスは大好評です!

カップケーキづくり



おひなさまをバックに お誕生会



綿ねんどで 作品づくり



うどんのバイキング



紙芝居



特別養護老人ホーム(80床) 市町村別入所申込状況

三木市	吉川町	94	三田市	12
三木市		69	神戸市	19
加東市		18	篠山市	1
小野市		7	伊丹市	1
西脇市		1	西宮市	1
加西市		1	芦屋市	1
加古川市		1	豊岡市	1
明石市		1		
高砂市		1	県外	9
姫路市		1		

合計 239名

管理栄養士 淳ちゃんからの厨房だより

平成24年1月19日に、施設の裏を流れる川が増水したという小規模災害を想定し、食事提供の訓練を行いました。北播磨圏域で病院、福祉施設、企業などが食中毒や災害時にお互い協力し合う“北播磨給食協議会”というものがあります。今回の訓練は吉川病院様、なにわ食品様からの食事支援と自施設(さざんかの郷)の備蓄食品を使って利用者の方に昼食を提供しました。



なにわ食品様から支援を受けた
普通食のお弁当。



吉川病院様から支援を受けた
刻み食のおかず。



小規模多機能内の喫茶スペースで備蓄食品の盛付を行いました。
備蓄食品を使ったミキサー食の食事です。



吉川高校3年生(ボランティア実践) 11名とのお別れ会

さざんかの郷にとって第13期生となる11名が、平成23年5月から8回目最終日となる平成24年1月13日(金)に、楽しい演芸お別れ会を催してくれました。今年は校長先生も参加して頂き、本当に素晴らしい企画で大いに盛り上がりました。卒業しても、それぞれの道でがんばって下さい!!



フラダンス「イミリアフラ」来園!!

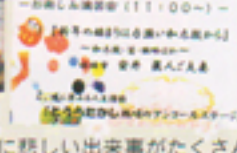
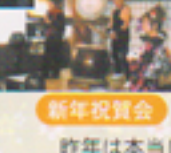
久しぶりにフラダンス「イミリアフラ」のみなさんが来られ、南国気分が漂う音楽とダンスで外の寒さを忘れ、本当に楽しい時間を過ごすことができました。



思い出アルバム

もちつき大会

いつも楽しみにされている“もちつき大会”今回も大盛況となり、昔のプロの方ばかりに声援を受けながら「よいしょ!!よいしょ!!」と美味しいもちがつきあがり、みんなでいただきました。



新年賀会

昨年は本当に悲しい出来事がたくさんありましたが、今年は少しでも希望の持てる年になりますようにと、厳かな中にも笑顔あふれる新年賀会となりました。

住宅介護支援センター

高齢者の生活を支える市民活動

今年に入り、三木市社協とジュン相談室の共催による「市民の為の成年後見入門講座」が4か所で開催されました。高齢者をねらう悪徳商法や振り込め詐欺等の被害から身を守り、自己決定していく事の不安さが表面化しています。

介護は介護保険で支援していますが、生活全体を考えると様々なサービスの利用支援が必要です。

高齢者が、住み慣れた地域で暮らしていくために、市民による市民のための運動が必要です。



居宅事業所

介護保険制度は、制度施行後10年が経過しました。そして、サービスの利用者数が施行当初の約3倍となって400万人を超えるなど、高齢者の暮らしを支える制度として定着しています。

介護保険制度は、制度施行後10年が経過しました。そして、サービスの利用者数が施行当初の約3倍

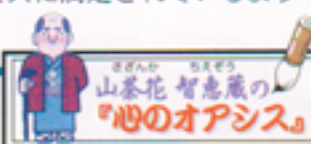
…… 2012年介護保険改正の主なポイント……

1. 医療と介護の連携の強化等
 - 24時間対応の定期巡回・随時対応型サービスを創設
 - 複合型サービスを創設
 - 介護予防・日常生活支援総合事業について
2. 介護人材の確保とサービスの質の向上
3. 高齢者の住まいの整備等
4. 認知症対策の推進
5. 保険者による主体的な取組の推進
6. 保険料の上昇の緩和



配食サービス

配食サービスは、週3回の夕食にお弁当を配達しています。毎月管理栄養士が献立を考え、ご飯やおかずも充実しています。一食一食手の込んだお弁当を、温かいうちに利用者の元へ届ける努力を日々しております。利用者からは、「おせちや季節ごとの料理もお弁当で食べれるので、とても嬉しく楽しみなが頂いています」などと、食を通して季節感があふれるサービスに満足されているようです。



山本花智恵蔵の『心のオアシス』

家庭でできること — 子供たちと未来を語り合う

アメリカの中学3年生が書いた『15歳のCEO』という本があります。CEOとは社長のことですが、この本には、15歳の少年が会社をつくるまでのプロセスや家庭環境、日本企業と提携するために訪日した時の印象が書かれています。その印象の一つは、日本の学生が将来の進路について深く考えていないことに、大変びっくりしたということでした。『15歳のCEO』には、家庭でできることの一つとして、小学生のころから将来の進路について考えさせることの大切さが書かれています。そして、小学校の高学年で決めた進路は実現することが多いとも書かれています。

日本の小学生に将来の夢を聞いてみると、歌手・タレントやスポーツマンになりたいという子供たちが多くいますが、おそらくの原因は、親子で未来の仕事や夢に対する会話が少ないことにあり、子供たちはテレビという環境から得られた情報の中で、未来の夢を描いているのでしょう。理想から現実に向けてストーリーが組み立てられないために、今日何をするかが決まっていないのです。それでも時間だけは過ぎ去っていくので、この若い人たちのことを「夢追い人」というわけです。

バレーの法則<2割・6割・2割の法則>という成功した「上位2割」の人たちの共通点は、理想が明確であり、その理想を実現するためのストーリーも明確なので、日々確実に、理想実現に向けて階段を一步一步進んでいるということです。「今、何を、いかにすべきか」が明確なために、確実に理想実現に近づいていきます。そして、なすべきことが決まっているので、日々の考えや行動に対して「なぜ失敗したのか。なぜ成功したのか」という反省ができ、その反省の中から教訓を学び、日々進歩して夢が現実になっていきます。

この調査は、ハーバード大学の卒業生を対象として、所得と心の持ち方を調査した結果ですが、この追跡調査の結果から、もう一つの法則を発見することができそうです。それが「念いが現実となる」という法則です。心の中に思ったことが強く強く念ったことが現実になるというのが法則であるからこそ、家庭の中でできる教育の一つに、親子で将来の夢を語り合うことの大切さを取り上げているのだと思います。この法則は、子供に限らず全ての人に当てはまることでもあり、陽春のとある休日、まず夢を語り合うことから始めてはいかがでしょうか。

訪問介護

今月は平成元年に金婚式を迎えられた素敵なお夫婦をご紹介します。



悩み事も、ひとしきり思案した後は「いやいなー、アハハ」と笑い飛ばす陽気なご主人。「ご馳走を作りに来てくれたんか」とヘルパーを笑顔で迎えられ、自分の仕事と決めた事はやり通す頑張り屋の奥様。現在も畑仕事をしながら二人三脚で1日1日を大切に過ごされているお二人です。

誰しも年を重ねると自分で出来ない事がでてきます。訪問介護では、出来なくなった事を補うチョコッとした支援もさせていただいています。少しの手助けで、利用者の不安が軽減し、笑顔が見られた時にヘルパーとしての喜びを感じ、幸せを実感します。



ふれあい学級

年2回夏と冬に中吉川小学校・吉川中学校の子供たちがたくさん来てくれます。今回は、窓ふきの後、みんなで音楽会をしてくれました。日頃可愛い子供を見ることのないお年寄りの方は突然の訪問に大喜び!! みんなからたくさんの元気をもらいました。また来てくださいね!!

